

藤波こども園

園だより No.76 令和3年11月12日発行



FUJINAMI
KODOMOEN

旧 藤波幼稚園 現 藤波こども園

楽しかった運動会

10月23日に藤波こども園の運動会が開催されました。緊急事態宣言が解除されてからの取組みでしたが、子どもたちは十分楽しめたようです。お家の方々もご覧くださり、ご参加や応援をいただきありがとうございました。年齢ごとの入替制だったため他の年齢の活動の様子を、また乳児さんには幼児の活動をお知らせします。



花組さんは初めての運動会。体操は普段から見ている月・星さんの姿から覚えました。かけっこでは、名前を呼ばれると「はい！」と手を上げて返事、手を上げたまま走って行ったり、ゴールテープがきりたくて再挑戦したりする姿がありました。

親子競技では汽車のポッポちゃんになって笑顔でお家の方と一緒にゆったりと楽しめました。

強い風にも負けず、楽しんで修行を見せてくれたのは星組忍者でした。去年の姿とは違いお家の方から離れ、自分で友だちと一緒に活動する姿に1年の成長を感じました。運動会が終わった後も、小さいお友だちの「やりたい」に応じて一緒にバルーンを楽しんでいる姿があり、異年齢(ホーム)の中での気持ちの育ちを感じています。



月組は、ドキドキしている子もいましたが、早くお家の人に見てほしいと楽しみにしていました。運動会が始まると堂々と行進し、自信をもった姿でレーや組体操をしていました。温かい雰囲気の中で、生き生きと楽しむ月組さんの姿からは、これまで友だちと共に互いを認め合いながら取り組んできた成果だと胸が熱くなりました。

中学生の職場体験で

先日、中学生が職場体験に来てくれました。

初日はドキドキしていた中学生でしたが、子どもたちに「遊ぼう」と誘われて、次第に緊張も緩んでいくようでした。終わった頃には毎回「楽しかった」「疲れた」という感想で終わることが多いのですが、今回は、ホームで運動会の余韻を楽しんでいる期間の職場体験だったので、ホームという我が園ならではの保育に何か感じてくれるかなあと期待していたところ、こんな話をしてくれました。『印象的だったのが組体操。ほんまに泣きそうになった。小中学校で経験した組体操は技や動作を完璧にすることが大切だと思っていた。でも、この園では、2人組の技でも「3人でもいいやん」って、先生の助けを借りなくても自分たちだけで解決していた。また、ピラミッドの場面では年長の子は一步ひいて下の段や真ん中のしんどいところへ率先して行ってくれていた。年少や年中の子のことを思いやれる姿があった。こんな小さな頃からこうした考え方ができるなんてほんとにびっくり、めっちゃ感動した』

大人が考える完璧なことを目指してすることがよいと評価するのではなく、互いに思いやり相手を尊重し、先生に頼らなくても自分たちで考えてやろうとしていることに感動してくれたようでした。



またこの体験を通して、ただ遊んだりするだけじゃなく、その子の興味関心とかを知ってその子に寄り添っていくことが大切なんだなあという話もしてくれました。そして、「ここに来てよかった」「すごく楽しかった」と言って体験を終えてくれました。

私たちの仕事に対する考えや願いを子どもたちの姿を通して感じてくれた中学生。まるで保育者の研修会のような内容の感想に職員一同驚きうれしく思い、子どもたちの成長をこれからもしっかりと支えていきたいと再確認しました。ありがとう。



引き渡し訓練にご協力ありがとうございました！

藤波こども園では、毎月1回、火災・地震・不審者対応等の避難訓練を実施しています。
今回は、大地震を想定した避難訓練と引き渡し訓練を実施しました。

子どもたちは、第一報を聞いて保育者と一緒に速やかに机の下などに避難しました。
静かにすばやく手際よく避難していましたよ。その後、園児の安全を考え、保護者の皆様
に引き渡しを行うことを判断するという想定で、一斉メールを配信したところ、順次お子さんを
引き取りに来てくださいました。

保護者の皆様にはお忙しい中、訓練実施にご協力いただきありがとうございました。

避難訓練のときに、いつも思うのですが、これは園児の訓練というより私たち大人の訓練だと一。

本当に大きな地震があったら、おそらく園庭・駐車場・歩道等は、液状化で亀裂が入り水が湧き出てくると考えられます。
園舎は地下30mの固い岩盤に繋がれているので大きな被害は免れますが、落下物や強化ガラスの細かいブロック状の
割れから子どもたちを守らなければなりません。



今回の引き渡し訓練実施中、メール配信の文字の不具合と混み合った駐車場の
出入口で車同士が接近する危ない場面が見られました。メールについては今一度
確認をして対応しました。駐車場が混み合った際には慌てず譲り合い落ち着いた行
動がとれるとよいと思われます。特に地震の程度により電源の確保ができるか、車が
使用できるかといった問題等が発生するので、落ち着いて、でき得る最善の行動で
臨機応変に対応していけるよう、今後も避難訓練に取り組んでいきたいと思います。
今回のように保護者の皆様との訓練を今後も実施していきますので、ご理解ご協力
のほどよろしくお願います。



青柳仏教会托鉢による寄附

今年度も青柳仏教会による托鉢で、青柳小学校区内
のお宅をまわらせていただきました。地域の皆様方のお志
をいただき、藤波こども園にご寄附をいただいています。

昭和32年に青柳仏教会のご協力のもと、現在のきら
きらクラブ(青柳学童)の場所に藤樹頌徳会小川寮があり、
その建物で藤波幼稚園が開園しました。仕事や子育てで
忙しいお母さん方を助け、子どもたちに幼児教育を行うこ
とが目的でした。

昭和35年には学校法人として認可、平成7年に2代
目の園舎が建設されました。(きらきらクラブ使用)

そして平成25年、現在の地に新園舎が建ち、藤波こ
ども園となっています。

60年余りの間、藤波幼稚園、幼稚園、こども園と
地域の方々や青柳仏教会にご支援をいただいていること
に大変感謝いたします。

🌸 ありがとうございます 🌸

★ドラえもん共同募金にご協力ありがとうございました。
子どもたちやお家の方のご厚意は、高島市社会
福祉協議会に届け、福祉活動に役立てていただきま
す。

(H28に藤波こども園は
発電機をいただきました。)



★以前当園の職員(用務員)だった北坂かよ子さん
からたくさんのサクラソウの苗をいただきました。
春にきれいなお花が咲くのが楽しみです。

